

災害支援の実施



いざという、その時に!!

国土交通省中部地方整備局では、地方公共団体への地域づくり及び災害支援のため、管内の各事務所に「地域総合支援室」を設置しています。各関係市町村に対し担当事務所を割り振り、当事務所は、八百津町と御嵩町を担当しています。当事務所では、今年度4月に開催された「平成22年度八百津町・御嵩町合同防災関係等会議」においては、八百津町、御嵩町両町長出席のもと、「災害時の連携体制等に係る申し合わせ事項(ホットラインの設置、災害支援要請、平時の情報交換など)」についての確認のほか、テックフォースの活動状況等についての討議、情報交換等が行われました。7月15日集中豪雨による八百津町で起きた痛ましい災害においては、本申し合わせによる八百津町からの要請に基づき、照明車の派遣が実施されました。

- 通常の災害支援
- 資機材の支援 (排水ポンプ車、照明車、ヘリコプター、衛星通信車など)
 - 技術的支援 (被災状況の緊急調査、応急復旧工法の助言、斜面や地すべりの状態評価・監視、家屋の応急危険度判定など)
 - その他 (他の応援団体との調整・連携)
- ◎費用負担・・・災害対策等を地方公共団体へ引き渡した場合、その後にかかる費用(現場経費等)は、原則、地方公共団体の負担となります。(ただし、災害状況によって異なる)

☆最近の事例：7月15日集中豪雨災害対応での八百津町への照明車、可児市への排水ポンプ車の派遣

排水ポンプ車

排水ポンプ車は、洪水時、現場へ出動し、排水作業をすばやく行ない、浸水被害を防ぎます。排水能力が、30m³/min、40m³/min、60m³/minの3種類あり、派遣場所の状況に応じ臨機応変に対応が可能です。

POINT
最大排水能力(60m³/分)の排水ポンプ車は、1秒間にドラム缶5本分の水を排水することができます。

大規模災害発生時

■緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE※)の支援

大規模自然災害等発生時、被災地域の地方整備局や地方公共団体が十分な災害対応を講じることが困難な場合に、被災状況に応じて、本省及び各地方整備局等の「緊急災害対策派遣隊」が被災地の緊急調査、緊急応急対策を実施します。

◎初動時の緊急調査に関する費用は、国が負担します。

※Technical Emergency Control Force

☆最近の事例：台風9号(平成22年9月8日)による静岡県駿東郡小山町豪雨災害への派遣

照明車

照明車は、災害現場へ出動し、広範囲での明るさを確保し、夜間の復旧活動や監視を支援します。

POINT
3階建てのビルの屋上と同じ高さから照らすことができ、50m先でも新聞を読むことができる明るさで照らします。

優良工事等表彰を実施

表彰式当日、日産工業(株)(下呂市)が平成21年度新丸山ダム国道418号改良工事と同社の西周作さんが優良工事技術者で中部地方整備局長表彰を受賞したことの報告があり、優良協力会社として(株)天野建設(御嵩町)と同社の天野和宏さんを事務所長表彰しました。石原所長は「工事現場が重複、近接するなかで工程調整等に主導的な役割を果たし現場の安全に寄与し、迅速な対応で工期末を待たずに工事を完成させてくれた。」と祝辞を述べて表彰を讃えました。



事務所関連表彰一覧

- 優良工事
平成21年度
新丸山ダム国道418号改良工事
日産工業(株) 局長表彰
- 優良工事技術者 局長表彰
日産工業(株)
西周作氏(監理技術者)
- 優良協力会社
(株)天野建設 事務所長表彰
天野和宏氏(主任技術者)
事務所長表彰
- 優良業務
平成21年度
新丸山ダム施工管理業務
(社)中部建設協会 局長表彰



受賞に際してのコメント

この度の受賞は、ご指導頂いた発注者及び各関係機関、地域の方々、協力会社の皆様のおかげと深く感謝いたします。今後もより一層品質の高い工事を完成できるように努めてまいります。 西さん



当工事は、発注者様、元請の日産工業(株)の方々の御指導や協力業者の努力もあり、良い状態で工事を進めることができました。今回の受賞を励みに今後も工事に真摯に取り組んでいきたいと思っております。 天野さん

土木工法の紹介 CSG工法とは…Cemented Sand and Gravelの頭文字

河床砂礫や掘削ズリなど建設現場周辺で容易に入手できる材料にセメントと水を添加し混合したものを汎用機械を用いて造成

建設コストの削減、環境負担の軽減を目的に開発

新丸山ダムでは、原石山から本体のコンクリート骨材を採取する際に発生する廃棄岩を有効利用して、CSG工法で減勢工基礎部を施工し、工期の縮減、大幅なコスト削減、環境負荷の軽減を図ります。

以前は、現河床部を全て本体コンクリートで埋め戻す計画

コンクリート量 約330 千m³
概算金額 約 58 億円

- ・発生応力により本体同様の材料を必要としない
- ・河床部の急速施工の必要
- ・コスト縮減

約12億減

現在は、現河床部を本体コンクリート+CSGで埋め戻す計画

コンクリート量 約330 千m³
のうち、CSG 100 千m³
概算金額 約 46 億円

